

コシヒカリ植付完了

4月29日、格納庫⇒安井西57⇒安井西58⇒三反田35⇒前田73⇒前田74⇒前田75⇒前田87⇒安井東45⇒安井南57⇒安井孝雄氏宅で一泊、4月30日、釜土101⇒ヘナギ68⇒ヘナギ73⇒山本達雄氏宅で一泊、5月1日、仲55⇒カツラ62⇒仲62⇒仲66⇒仲67⇒ヒノキダ25⇒佃23⇒ヒノキダ66⇒ヒノキダ65⇒ヒノキダ64⇒林諭氏宅で一泊、5月2日、南谷1⇒南谷2⇒南谷3⇒南谷4⇒南谷5⇒南谷11⇒キタノツラ14⇒南谷14⇒南谷16⇒南谷23⇒格納庫

上記は、コシヒカリ植付圃場に関する田植機の移動順番です。圃場の枚数、32枚面積6.5ha、苗箱約1000枚を述べ4日、実質3日で完了して頂きました。オペレータ2人、補助1人、苗運搬2人、苗箱水洗い2人、合計7名の方で弁当もちで、朝、7時から通しで植付をしていただきました。大型の8条田植機で倒伏田とか、豆栽培後の圃場には、肥料を少な目に、エコファーマー圃場に関しては、専用肥料を、圃場によっては、出入りの難しい圃場、トレーラに積み下ろしの安全作業に神経をとがらせ、しかし効率的な事を配慮して植え付け作業をしていただきました。苗運搬作業においては、田植機の進み具合を考え、先手、先手で効率よく圃場に配置しなければなりません。しかし早く圃場に置きすぎると、苗が乾燥してしまいます。神経をとがらせながらお世話になりました。苗箱水洗いも、日によって洗浄場所を変え、効率よく洗浄して、洗浄した苗箱を即、軽トラに積み込み、Jaへ返納して頂きました。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。又、田植準備の耕運、水張、代スキも大変段取りよくしていただき感謝しております。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

植付後の水管理について、水が多くて苗が水に浸かっては、苗が消えます。土が出ていると固くなり、草が生えやすくなります。1週間後に、除草剤を散布します。水をしっかり張って、散布します。散布後4日間は、水を動かしてはなりません。即ち、水を圃場に入れれないと言うことです。しかし土がでていると薬が効かず草が生えますので水を注いでください。水がないからと言って水を一晚入れっぱなしとか、入れたまま長い外出は避けて下さい。水の点検は、1カ所から確認するのではなく、圃場の周囲を回り、圃場全体を、畦から水が漏れていないかも確認してください。自動車の中から確認だけではダメです。この時期が水管理の一番重要な時期です。稲が取りついたら、水が無くなったら入れるぐらいで良いでしょう。一晚中入れっぱなし、入れっぱなしで外出しても大丈夫です。

6月下旬には、中干、7月、出穂前には水張と草刈励行。8月中旬に落水、9月上旬に刈取り、後は天気に任せて、今年も豊作でありますように!

酒米、餅、WCSの田植時期は、5月20日過ぎになる予定です。その節にはよろしく願い申し上げます

美しいふるさとをみんなの力で守って行こう